



月の光のようなやさしい支援と、
そよ風のような居心地のいいまちと、
そこに住む人と・・・

NPO法人
月と風と

NPO法人 月と風と

〒661-0953
尼崎市東園田4丁目159-2
メソンスリーエイト園田102号
TEL/FAX : 06-6493-6965
E-mail : tsukitokazeto@yahoo.co.jp
ホームページ : http://tsukikaze.mond.jp/



『トリボッチャナイプロジェクト』ができるまで

～/～活動をしていてわかったこと、それは困っている人、生きづらさを感じている人は、この世の中にたくさんいるんだなあというところでした。～/～活動を軸としながら、もっと視野を広げてそういう人の力にもなれないものがあるのか？それを同時に自分たちができる範囲でしかも楽しく継続的に、何かできないものか？それが『トリボッチャナイプロジェクト』発案のきっかけでした。



月と風とはNPO法人であることになっていました。

月と風とは「特定非営利活動法人(NPO)」です。NPOは社会問題に対して「気持ちはあるが資金がない」「行動力はあるが経験がない」人でも立ち上げて運営していく、社会を変える一端を担える法人格です。そんな組織がた～さんあれば、自分たちの方で社会をよりよい方向に変えていくかもしれない。

NPO法人へのこだわり



車いすの人がいると...。エレベーターがで、スロープがで、手伝いをする人が現れます。手伝いをする人が増え、理解者が増え、そのまことに住みたい<なり。重しよようかいをお持ちの方が住みまは、どんな人にも住みよい、優しいまちになります。自分ならそんなまことに住みたい。そういうまちをくりと、月と風とは寄与したいと思つています。

しょうがいな人が重い人こそ、地域にいた方がいい

『その人』を知っている、『その人の思い』を知っている、『その人のこれから』を思っている。自分なら、そんな人に近<にいてほしい。月と風との介助は、医療的な専門性のみでつながらなくてはな<。『ひととひと』との親和性を大切に、しょうがい者の方に寄り添い、助け合うことを目的としています。

『ひととひと』との親和性よりも医療の専門性よりも

私たちがこれまで、命に開く呼吸器のリスクが高いということから、～/～派遣を受ける事業所が見つからず困つておられる方々やご家族、「自分の思いを<みと<られる～/～がいない」と閉こもりがちになる方々とお出逢つてきました。そのような方に寄り添い、ひととひとの目標や課題に取り組み、一緒に楽しい時間を過ごす。泣き笑いができる。月と風とは、そうしたことの積み重ねが、ひとが孤立しがちな状況を変えていき、誰もが徹底的に肯定される社会につながるのだからと考えています。

脳が覚醒する時間が短<なりがちです。さらに、体の過緊張を抑える薬剤を服用することを入が必要だつたりします。自らの力で呼吸が難しい方は、人工呼吸器を吸引したり、お腹に開けた穴からチューブで直接栄養剤の注胃などの消化器系が機能しに<いたために、のどに開けた穴からたけーしょんが難しいだけな<、気管や肺などの呼吸器系、食道やそうした方々は、両手両足のまひ)や言語でのコミュニケーションが難しいと『～/～派遣を行っています。身しょうがい者』と言われる方への～/～派遣を行っています。

月と風とヘルパーと

